

(3) 住宅の規模

専用住宅1住宅当たりの居住室数・居住室の畳数・延べ面積をみると、平成20年はそれぞれ3.38室、23.24畳、62.51㎡となっている。平成15年と比較すると、室数は0.07室減少、畳数は0.09畳増加、面積は0.03㎡減少している。

また、1人当たり居住室の畳数は0.45畳増加しているが、1室当たり人員は0.01人減少している。

昭和43年からの推移を見ると、専用住宅1住宅当たり居住室数は1.2倍に増加している。

平成20年の専用住宅1住宅当たり延べ面積をみると、東京は62.51㎡で、全国で最も住宅規模が狭くなっている。(表3、図3、付表1)

表3 専用住宅1住宅当たり居住室数・居住室の畳数・延べ面積と1人当たり居住室の畳数及び1室当たり人員—東京都(昭和43年～平成20年)

| 年次 | 専用住宅 | | | 1人当たり 居住室の畳数 | 1室当たり人員 |
|--------------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|---------|
| | 1住宅当たり 居住室数 | 1住宅当たり 居住室の畳数 | 1住宅当たり 延べ面積 | | |
| | (室) | (畳) | (㎡) | (畳) | (人) |
| 昭和43年 | 2.77 | 14.84 | 43.84 | 4.45 | 1.21 |
| 昭和48年 | 3.00 | 16.46 | 47.43 | 5.47 | 1.01 |
| 昭和53年 | 3.25 | 18.48 | 50.66 | 6.46 | 0.88 |
| 昭和58年 | 3.38 | 19.75 | 54.24 | 7.18 | 0.81 |
| 昭和63年 | 3.48 | 21.04 | 56.72 | 7.93 | 0.76 |
| 平成5年 | 3.45 | 21.56 | 58.95 | 8.66 | 0.72 |
| 平成10年 | 3.41 | 22.01 | 59.43 | 9.55 | 0.68 |
| 平成15年 | 3.45 | 23.15 | 62.54 | 10.47 | 0.64 |
| 平成20年 | 3.38 | 23.24 | 62.51 | 10.92 | 0.63 |
| 平成15年～平成20年 増減数 | △ 0.07 | 0.09 | △ 0.03 | 0.45 | △ 0.01 |

注1) 専用住宅とは、居住専用に建築された住宅を示す。店舗用住宅等を除く。

注2) 居住室とは居間や寝室など居住用の室を示す。玄関、台所、トイレ、浴室、廊下等を除く。

図3 専用住宅の1住宅当たり延べ面積の上位及び下位5都道府県(平成20年)

